

「平成30年度新規就農促進フォーラム」及び 「一農ネット交流会」を開催しました！

東北農政局は2月21日（木）仙台合同庁舎A棟において、「平成30年度新規就農促進フォーラム」及び「一農ネット交流会」を開催しました。

①新規就農促進フォーラム

山形県鶴岡市、福島県只見町、宮城県栗原市から2名ずつ3組の講演者にお越しいただき、青年農業者の取組や自治体等における新規就農者への支援事例、就農希望者や新規就農者に対するアドバイスなどについて発表していただきました。

就農希望者・新規就農者へのメッセージ

○山形県鶴岡市

青年農業者 阿部佑一氏

まずは自分の目標は何か整理をしてください。それが決まったら、あとはどうやって実現するかということについて、積極的に研修会に出て情報を集めたり、サポート機関に相談したりしてよく考えていけば、いつか必ず成功できると思います。失敗を恐れずに挑戦してください。

地域定住農業者育成コンソーシアム 小沢亙氏

鶴岡市・庄内地域で農業を志す若手農業者に対し、自立（経営感覚の優れた担い手）に向け、地域定住農業者育成コンソーシアムを組織し、高度技術研修、ビジネス化支援、農作物販売支援、住宅・生活支援など総合的支援で支え、地域定住に繋げ、農業の発展と地域経済の振興を図っています。悩み事があれば積極的に相談してください。

○福島県只見町

青年農業者 吉津紘二氏

就農する時に大切なことを3つ考えました。1つ目は、1年間でどれくらい手元にお金を残したいのかを考えて、計画を立てたりイメージをしたりすること。2つ目は、農業は必ず地域の土や水などの資源を使うので、地域の活動に積極的に参加して、周囲と良好なコミュニケーションをとること。3つ目は、自分がやりたいことと同じことをして成功した人を見つけて、その人に失敗談も含め、いろいろ教えてもらうことです。

只見町役場農林建設課 山内翔氏

自然の中で自然を相手にする農業は、非常に醍醐味のある職業です。自分に馴染む産地はどこか、関係機関からも情報提供してもらいながら、探していただければと思います。

○宮城県栗原市

青年農業者 星智亮氏

自分がプラスと思うものにはなんでもチャレンジしてください。それによって若干マイナスのことが起こるかもしれないけど、それを乗り越えるようなプラスを求めて頑張っていけば、良い農業生活ができるのではないかと思います。

青年農業者 星光氏

新しいことを始めようとするときは、反対や批判がついてくるものです。ですが、小さなことでも、わくわくすること、楽しいと思うことをやっていくと、興味を持ってくれた方が集まってくれて心がプラスに変わってきて、結果も必ずついてくるようになります。ぜひ楽しいと思うことを見つけて、まずやってみるということをお勧めしたいと思います。

②一農ネット交流会

交流会では、参加者は「就農希望者及び農業者」と「行政機関」のグループに分かれ、フォーラム講演者の皆様の助言を受けながら、ワークショップ形式で自分や組織の夢・目標の達成に向け話し合いました。

ワークショップでは、

- ①自分(組織)の目標は何で、それをいつまでに達成したいか
- ②目標を実現するための課題や、しなければならないことは何か
- ③課題の解決のための方法は何か

について、順番に付箋に書いて整理し、発表しながら話し合いを進めました。

一例として、就農希望者及び農業者のグループでは、

- ①新しい分野(カフェ経営、観光農園化など)の開拓 → ②労働力の確保、情報収集
→ ③働きやすい環境の整備、サポート機関の活用 という話し合いが、

行政機関のグループでは、

- ①就農希望者の確保 → ②就農希望者が就農後の自分をイメージできるような工夫
→ ③新規就農者のモデルケースを作成、インターネットやツアーの開催を通して周知
というような話し合いがありました。

ワークショップ終了後、就農希望者及び農業者のグループでは、参加者が話し合いを通して明確になった自身の目標を掲げ、交流会を締めくくりました。

<新規就農促進フォーラムの様子>



鈴木農政局長による主催者挨拶



講演者の皆様。左から星ご夫妻、吉津氏、山内氏、小沢氏、阿部氏



会場の様子

<一農ネット交流会の様子>



ワークショップの様子
(農業者・就農希望者)



ワークショップの様子
(行政機関等)



交流会で整理した目標を掲げる参加者